

事業名	10210301 財政管理事務	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和3年度	事業区分			—
		根拠法令	地方財政法、粕屋町財務規則	予算科目	会計	款	項	目	財政管理費
		行政計画	なし		一般会計	2	1	3	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	2 健全な財政運営のまちづくり	施策	(1) 持続可能な財政基盤の強化				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <p>○社会保障関連経費や公共施設の老朽化による改修費などの支出が増加し、財源の確保に苦慮する中、限られた財源を効率的に配分するため、平成29年度から枠配分方式の予算編成を導入した。しかしながら、人口増に伴う必要経費の増加などから、枠配分方式では限界があったため、令和元年度から積上方式の予算編成に戻し、全庁的な視点で財源調整を行うことで適正な予算配分を行い、財源不足補てんのための基金取崩しを最小限に抑えるよう努めた。</p> <p>○町民の皆さまに町の財政に関心を持ってもらうため、予算編成方針や査定状況をホームページに掲載するなど、情報公開を推進した。</p>	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <p>○今後も社会保障関連経費は増加し、また、施設個別計画に沿った改修が予定されるとともに近年頻発する自然災害への対策が必要となるなど、歳出の増加が見込まれている。一方で、それらの財政需要に見合った一般財源の伸びは期待できず、厳しい財政状況となることが予想される。</p>	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <p>○事務事業の必要性の再検討による見直しに加え、重点事業などへの適正な財源配分を行うとともに新たな財源の確保に努める。また、長期的な視点に立った計画的な財政運営を行うことで財政需要の平準化を図り、持続可能な財政基盤を確立する。</p> <p>○わかりやすい財政状況の提供に努める。</p>
--	---	--

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <p>○将来にわたる安定した行政サービスの提供や持続可能な財政基盤の強化を図るため、長期的な視点に立った計画的な財政運営及び財源の適正配分を行うことを目的とする。</p>	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <p>○令和3年度は令和2年度に続いてコロナ禍における緊急時の財政運営となることが見込まれる。コロナによる危機を克服するため財政調整基金の積極的な活用による財政支出が必要となるが財政規律も重視した財政運営を行っていく。</p>	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2決算額</th> <th>R3決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>1,800</td> <td>1,823</td> </tr> <tr> <td>歳入 (特定財源)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2決算額	R3決算額	歳出	1,800	1,823	歳入 (特定財源)	0	0
年度	R2決算額	R3決算額									
歳出	1,800	1,823									
歳入 (特定財源)	0	0									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <p>○令和3年度は、コロナ対策事業の実施などにより10回もの補正予算を編成することとなった。コロナ対策には、必要に応じて財政調整基金の取崩しを行ってきたが、補正予算時の余剰財源による積立てを行ったことで、同基金残高は災害時の対応に必要な水準まで回復している。</p> <p>○今後の財政収支の見通しを明らかにし、将来的に持続可能な財政基盤の確率を図るため、中期財政見通しを策定した。</p>	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <p>○コロナ流行は自然災害と同等であり、流行が続いている状況の中で、財政調整基金の残高を確保できていることは大きい。コロナ対策については、引き続き財政調整基金の積極的な活用が必要になる。</p> <p>○老朽化施設の改修工事が令和4年度から本格化し、その財源として町債の残高が増加することによる公債費の増加など、歳出の増加が見込まれ、基金の減少は避けられない見通しである。</p>	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <p>○コロナ禍の緊急時であり、一時的な財政状況の悪化はやむを得ないものと考えられる。策定した中期財政見通しは時点修正を行い、歳入の状況に見合った事業の実施や平準化を図ることなどで、財政の悪化を最小限に止める必要がある。</p>									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

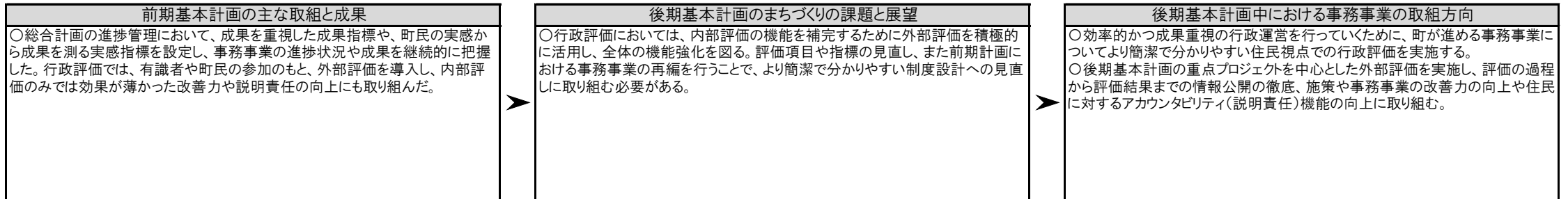
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <p>○町の財政運営に関する事務(予算編成及び執行、地方債の管理、財務書類の作成など)</p> <p>○広報やホームページでの決算情報や財務書類の掲載など情報公開の推進</p>	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <p>○限られた財源の中で基金の取崩しに依存せず、重点事業への効果的な財源配分が可能となる。</p> <p>○町の財政状況をわかりやすく提供することで、町の財政に関心を持ってもらうことができる。</p>	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>○計画的な財政運営により、将来にわたる安定した行政サービスの提供や持続可能な財政基盤の強化が図られる。</p>
---	---	---

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			

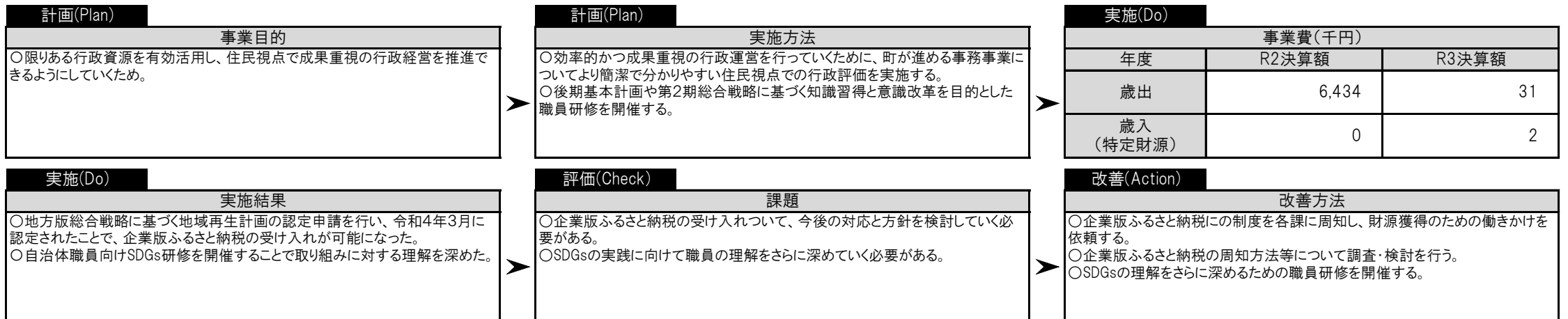
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]財政力指数	目標値		0.89	0.93
	実績値	0.88	0.88	
	達成率			
[施策]実質公債費比率	目標値		10.9	10.5
	実績値	11.0	8.8	
	達成率			

事業名	10210601 行政経営推進事業	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和3年度	事業区分			—
		根拠法令	粕屋町行政評価実施規程	予算科目	会計	款	項	目	行政経営費
		行政計画	第5次粕屋町総合計画		一般会計	2	1	6	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	1 町民のための行政経営のまちづくり	施策	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化				

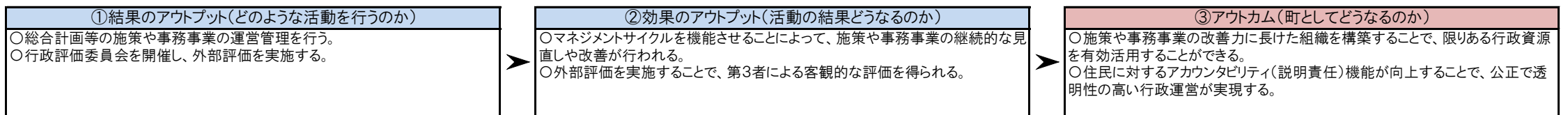
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)

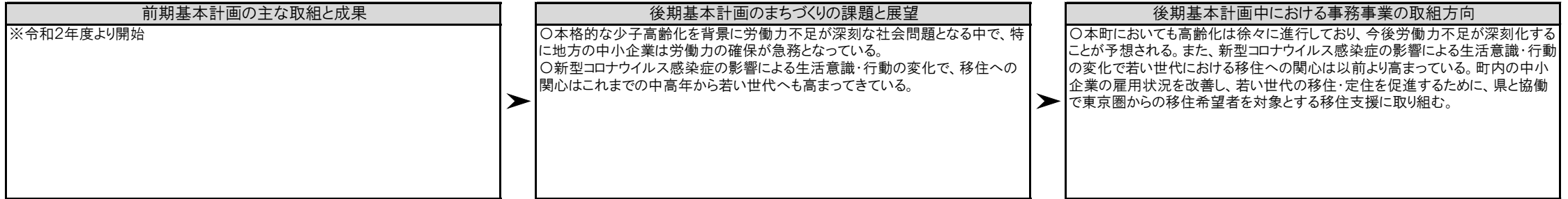


活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
事務事業評価(内部評価)実施率	目標値		100	100
	実績値	100	100	
	達成率			
単位: %				
行政評価委員会(外部評価)延べ実施回数	目標値		0	8
	実績値	7	0	
	達成率			
単位: 回				0.0%

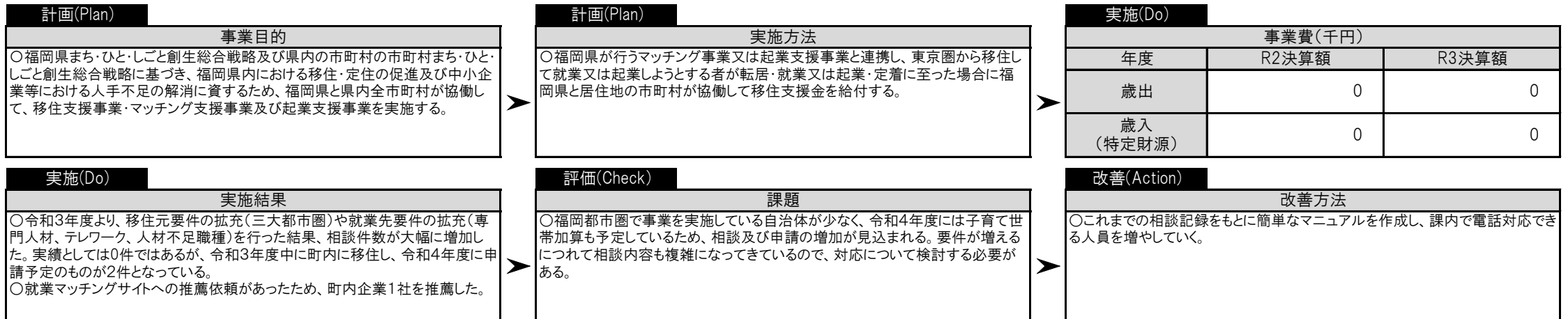
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				
	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

事業名	10210603 移住支援事業	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和3年度	事業区分		-	
		根拠法令	粕屋町移住支援金交付要綱	予算科目	会計	款	項	目	行政経営費
		行政計画	第2期粕屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略		一般会計	2	1	6	
基本目標	1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち	政策	1 地域のつながりを大切にしまちづくり	施策	(2) 人と地域が輝くまちづくり活動の推進				

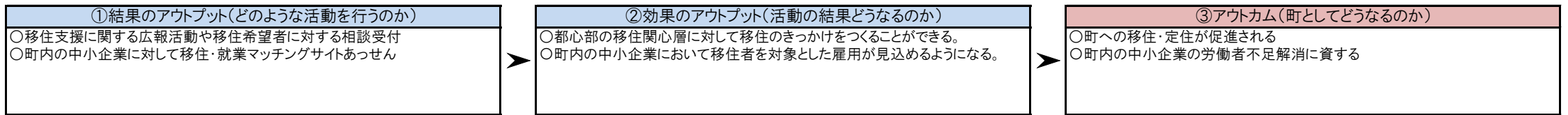
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
移住支援に関する相談件数	目標値		10	10
	実績値	0	29	
	達成率		290.0%	0.0%
町内中小企業のマッチングサイト延べ掲載数	目標値		2	10
	実績値	1	2	
	達成率		100.0%	0.0%

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]移住支援累計利用者数	目標値		4	12
	実績値	0	0	
	達成率		0.0%	0.0%
単位: 世帯	目標値			
	実績値			
	達成率			

事業名	10210901 広域連携事業	所管課	総務部 経営政策課		事業年度	令和3年度		事業区分		—
		根拠法令	福岡都市圏広域行政推進協議会規約		予算科目	会計	款	項	目	広域行政費
		行政計画	ふくおか都市圏まちづくりプラン(第6次広域行政計画)			一般会計	2	1	9	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	3 広域的な視点に立ったまちづくり		施策	(1) 連携して取り組む広域行政の推進				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <p>○福岡都市圏では広域連携による共同事業として、平成29年度に消防通信指令業務、令和2年度からはNet119 緊急通報システムの共同運用を開始した。また、ラグビーワールドカップ2019 など大規模スポーツイベントの開催に伴う子どもたちを対象とした体験教室や、飲酒運転撲滅事業として、街頭キャンペーンやミニ生命のメッセージ展を開催した。</p> <p>○糟屋中南部地域広域連携プロジェクトでは、かすや地域魅力情報発信プロジェクトとして、地域づくり団体等が実施するかすやのお宝を活かした体験事業やウォーキングイベント、交流農園の入園者支援などを実施した。</p>	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <p>○令和3年度から始まるふくおか都市圏まちづくりプラン(第6次広域行政計画)では、これまで進めてきた取組の充実・強化を図るとともに、共生社会、脱炭素・循環型社会など、時代に応じた新たな取組を始める。</p> <p>○入管法改正により新たな在留資格が創設されるなど、外国人受け入れの拡大が進んでおり、福岡県内の在留外国人は増加傾向である。糟屋中南部地域においても同様の傾向であり、今後外国人住民との共生(多文化共生)は重要な課題となってくると考えられる。</p>	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <p>○福岡都市圏の一員として、ふくおか都市圏まちづくりプランに沿った広域連携による効率的で効果的な事業展開を進める。</p> <p>○糟屋中南部地域における外国人住民に関する現状について把握し、同地域における課題や問題点を明らかにし、外国人住民を円滑に地域に受け入れるための調査研究を行いながら、圏域での取組や施策を検討する。</p>
--	---	--

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <p>○福岡都市圏や糟屋中南部地域の広域連携により、高次で均質な行政サービスや一体的な地域振興、地域に共通する課題の解決を図るため。</p>	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <p>○令和3年度から始まるふくおか都市圏まちづくりプランに基づいた新たな取組を進める。</p> <p>○糟屋中南部地域において外国人との共生に関する調査研究を行う。</p>	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2決算額</th> <th>R3決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>歳入(特定財源)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2決算額	R3決算額	歳出	68	68	歳入(特定財源)	0	0
年度	R2決算額	R3決算額									
歳出	68	68									
歳入(特定財源)	0	0									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <p>○新しいまちづくりプランに基づき、性的マイノリティや海洋ごみなどの新規共同事業に取り組んだが、感染症の影響により世界水泳を活用したレガシー事業は延期となった。</p> <p>○外国人との共生に向けた取組みでは日本語講座やリーフレットの作成を行った。</p>	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <p>○令和4年度以降も新規共同事業(キッズジョブチャレンジ等)が開催予定であり、各市町と共同で事業を進めていく必要がある。</p> <p>○糟屋中南部地域においては今後の事業継続について協議する必要がある。</p>	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <p>○都市圏の課長・係長会議において事業内容について十分検討し、特に糟屋地域においては今後の共同事業の方針について協議を進める。</p>									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

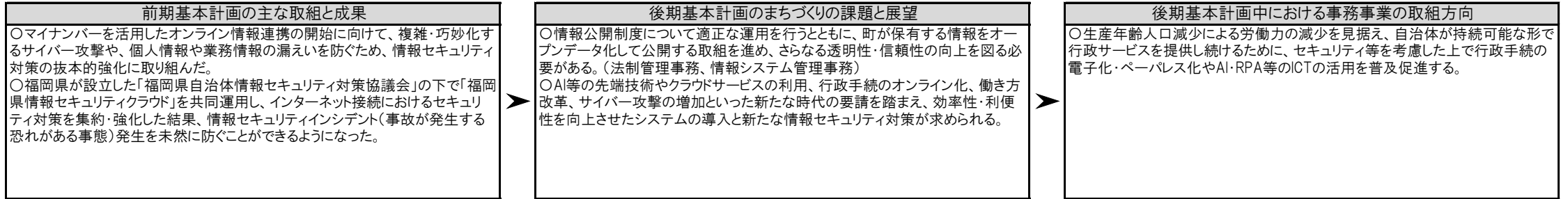
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <p>○福岡都市圏広域行政推進協議会において作成した福岡都市圏広域行政計画に基づく、共同の各事務事業等の実施</p>	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <p>○福岡県及び各市町村との連携が強化される。</p> <p>○施設の共同利用等による住民の利便性が向上する</p> <p>○共同実施による効率的で効果的な事業の運営ができる。</p>	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>○広域連携による共同事務の効率化や住民の利便性の向上が図られる。</p>
---	---	--

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			
外国人との共生に関する研究会出席回数	目標値		3	3
	実績値	3	2	
	達成率		66.7%	0.0%

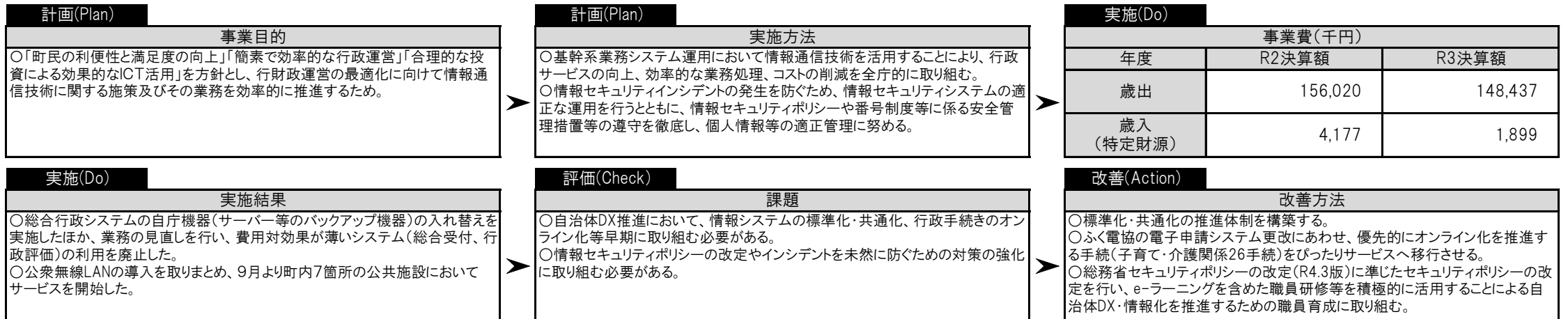
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]都市圏共同事業数	目標値		20	20
	実績値	18	17	
	達成率		0.0%	0.0%
単位: 事業	目標値		1	1
	実績値	0	2	
	達成率		200.0%	0.0%

事業名	10211001 10211002		所管課	総務部 経営政策課		事業年度	令和3年度		事業区分		重点P(持続成長)
	情報システム管理事業		根拠法令	粕屋町情報セキュリティポリシー		予算科目	会計	款	項	目	情報システム管理費
			行政計画	なし			一般会計	2	1	10	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち		政策	1 町民のための行政経営のまちづくり		施策	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化				

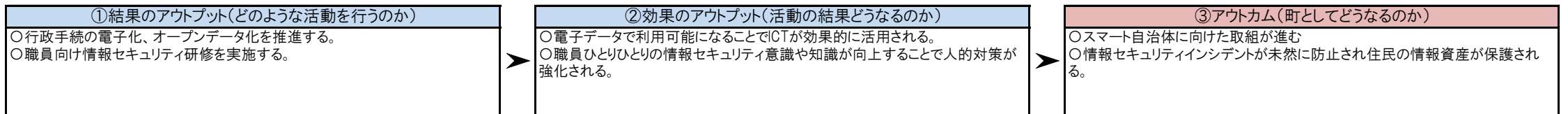
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
オープンデータ登録数	目標値		60	100
	実績値	31	71	
	達成率		118.3%	0.0%
単位: データセット				
職員向け情報セキュリティ研修の実施	目標値		2	2
	実績値	1	2	
	達成率		100.0%	0.0%
単位: 回/年				

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]オープンデータを活用したサービス登録数	目標値		6	12
	実績値	4	4	
	達成率		66.7%	0.0%
単位: 件				
セキュリティインシデント発生件数	目標値		0	0
	実績値	1	1	
	達成率			
単位: 件/年				